

## 事業拡大へ新社屋開設

## 近況



「来年の新社屋完成を機にさらに業績拡大を図っていきたい」と語るのは、産業機械設計製造工フ・アイ・ティ（各務原市鷺沼朝日町）の古田貴士社長（44）。

同社は、産業機械に組み込まれるFA機器のリユース事業で業績を伸ばしている。モーターやセンサー、ベアリングなど、未使用のまま在庫化したFA機器を買い取り、インターネットで安く販売。2010年に立ち上げた事業は、売上高3億円を超え、同社全体の7割を占めるまでに成長した。

来年2月には、3カ所に分かれていた各部門を集約する新社屋が完成する。「安価な機械・電気部品への需要は高い。ネット販売が強みのリユース事業をさらに拡充させ、5年以内に5億円を達成したい」と意気込む。

2017年11月10日(金) 岐阜新聞にて掲載